

事業概要説明書 [1]		事業番号	3-2		
事務事業名	災害時備蓄品整備費	担当部名	総務部		
事業開始年度	平成 20 年度	担当課名	危機管理室		
実施方法	直営	担当係	—		
根拠法令等	災害対策基本法 (第 4 2 条)				
事業の概要	目的 〔 何のために 〕	防災体制の整備			
	対象・手段 〔 誰(何)に対して、何をするのか 〕	<p>災害時の避難者に対して非常食、飲料水、毛布等を支給し当面の生活を支援する体制を整備する。</p> <p>○備蓄の基本的な考え方 (1) 災害に備えて緊急用食料、生活必需品及び医薬品等の備蓄を図る。 (2) 備蓄物資のうち、賞味期限のあるものは適時に入替を行う。 (3) 民間事業者等と食料供給協定を締結するなどにより、流通在庫備蓄に努める。 (4) 住民や事業所に対し、3日分の食料等を自主的に確保するよう啓発する。</p> <p>○備蓄品の概要 非常食、飲料水、毛布、生理用品等</p> <p>○備蓄状況 総合支所、地域センター、小中学校など18箇所に分散備蓄 →詳細は、補助資料。</p>			
	事業の必要性	<p>本市では平成17年の台風14号で大きな被害を受けたが、温暖化の影響もあり、今後も避難を必要とする風水害の発生が想定される。また、日向灘地震や東南海・南海地震など大規模な災害も想定されており、被災による避難者等に対して市として万全の対策をとっておく必要がある。</p>			
コスト	平成23年度(予算)		人件費		
	直接事業費 (A)	3,000 千円	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数
	人件費 (B)	750 千円	正規職員	750 千円	0.1 人
	総事業費 (A+B)	3,750 千円	嘱託員	0 千円	0 人
平成23年度 直接事業費内訳	<p>災害用備蓄品 (千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲料水等 2,340 ・ 非常食 436 ・ 医薬品 200 ・ 発電機用ガソリン 24 				

事業概要説明書 [2]		事業番号	3-2		
年度		平成22年度(決算)	平成23年度(予算)		
直接事業費		1,532 千円	3,000 千円		
財源	一般財源	1,532 千円	3,000 千円		
	受益者負担金	0 千円	0 千円		
	その他	0 千円	0 千円		
成果目標 〔 どのような状態を目指すのか 〕	災害時における避難者が、当面必要な食料や生活用品を入手することができる。				
成果実績 〔 成果目標の達成状況等 〕	[状況]	想定した成果を得ている			
	[説明]	避難所を開設した際、必要に応じて毛布や非常食等を提供し、避難者の支援を行っている。 ○避難実績 H22 401人(13箇所) ※東日本大震災に伴う津波警報による避難 H21 実績なし(避難なし) H20 76人(7箇所) ※うち、不発弾処理に係る避難 19人(2箇所)			
成果指標 〔 事業の実績及び目標 〕	指標名 (下段:指標の説明)	単位	数値 (上段:目標 / 下段:実績)		
			平成21年度	平成22年度	平成23年度
	備蓄品支援ができなかった避難所数	箇所	0	0	0
			0	0	
備蓄品支援ができなかった避難者数	人	0	0	0	
		0	0		
事業の方向性 〔 事業の現状と課題、今後のあり方等 〕	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度に、平成22年度～平成26年度までの備蓄品整備計画を策定し、災害時における救援物資提供等に関する協定を締結している民間事業者の活用を図ることとして、必要物資の数量や品目について見直しを行った。今後も協定関係機関との協力体制を強化し、効率的な整備に努める。 備蓄品については、支出負担に年度の偏りが出ないように平準化を図りながら確保に努める。 賞味期限間近の備蓄品は、防災訓練時に参加者に配布するなど、有効活用を図る。 				
特記事項 〔 参考情報等 〕					

災害時備蓄品整備事業補助資料【危機管理室】

1 備蓄状況一覧（平成23年4月1日現在）

備蓄場所	佐土原 総合支所	田野 総合支所	高岡 総合支所	須賀 総合支所	宮崎東中体育館 江平東2丁目3番	大浜小体育館 深川2丁目3番	大浜中体育館 天満1丁目2-6	須賀原緑地倉庫 大字小松3152	宮崎北中体育館 大字大瀬崎241	青島地域センター コンテナ式倉庫	種地域事務所 コンテナ式倉庫	住吉地域センター コンテナ式倉庫	香江地域センター コンテナ式倉庫	大塚台・生目台 地域事務所2階	避難所 備蓄ロッカー	皇目の池アイースタジアム 大字跡江4464-1	皇目の池体育館 大字跡江4464-1	市郡会体育館駐車場内 宮崎駅東1-2-7	市郡会体育館駐車場内 宮崎駅東1-2-7	尾形美化センター	合計
面積(m ²)					37	34	25	20	10	9.6	9.6	9.6	5.8	64	13箇所	150(2階層)	50	150【東側】	150【西側】		
乾パン(食)	864	432	816	160																	2,272
缶入パン(チョコチップ)	1,952	1,152	2,120		808	2,712			792	456	408	264	216	3,594	2,760	608	1,512				19,354
缶入パン(ミルクスプレー)	1,976	1,176	2,120		808	960			792	528	384	48	72	3,588		944	2,568				15,964
缶入パン(ドライリンゴ)	1,952	1,152	2,144		2,584	888			816	456	408	48	72	3,594		920	2,112				17,146
缶入パン(生命のパン)	2,400	4,800	2,400				600			360		1,200		4,800	840	2,400	1,200				21,000
アルファ米				480																	480
水もどり餅				320																	320
※非常食計	9,144	8,712	9,600	960	4,200	4,560	600	0	2,400	1,800	1,200	1,560	360	15,576	3,600	4,872	7,392	0	0	0	76,536
毛布(枚)	855	660	839		320	1,062	70	308	200	500	400	375	380	1,050	377	216	1,000	450			9,062
日用品セット(箱)																6					6
乳着セット(組)								770													770
ブルーシート(枚)	4	5	49	30	172		100	15		2		30	5		65						477
哺乳瓶(本)							50														50
緊急用浄水機(基)										1	1	1			1(木花)		1				6
保存用飲料水(本、500ml)																					15,432
生理用品(枚)	9,800	9,800	9,800					30,048						5,544		9,576	4,032	12,432			91,032
紙おむつ 大人(枚)								1,350													1,350
紙おむつ 乳児(枚)	5,495	5,456	6,610					11,778						2,622		4,608		4,041			40,610
タオル(枚)	3,000	2,810	2,800		2,000		500	4,365		1,065	1,000	1,106	2,015	2,100	2,395	4,060	3,000				32,216
災害用縦立式トイレ								16										6			22
災害用簡易型トイレ	37	35	40					70										5			207

2 今後の備蓄計画

(1) 備蓄品目別の目標数量とその設定根拠

備蓄品目	備蓄目標数量	根 拠
非常食	77,160 食	想定避難者数×1食×1日×0.6
飲料水(500m)	77,160 本	想定避難者数×1本×1日×0.6
災害時医薬品	200 人分	市郡医師会病院、田野病院に災害時医薬品を200名分備蓄する。
毛布	9,650 枚	想定避難者数×対象市人口比25.0% (11歳以下、70歳以上) ×1枚×0.3 ※避難者のうち、子ども・高齢者分を確保する。
タオル	38,580 枚	想定避難者数×1枚×0.3
大人用紙おむつ	1,230 枚	市内在宅寝たきり高齢者数×35% (避難者数想定割合=128,600/368,700) ×5枚/日×3日×0.3 ※在宅寝たきり高齢者は、統計上未把握。但し、概ね介護保険における認定レベル「要介護4~5」に相当する為、777名と想定する。
乳児用紙おむつ	25,560 枚	想定避難者数×対象市人口比2.76% (0~2歳以下) ×8枚/日×3日×0.3
生理用品	60,570 枚	想定避難者数×対象人口比31.4% (10歳以上56歳以下の女性) ×5枚/日×3日×1/3×0.3 ※対象者のうち、1/3を生理中と想定する。
災害時トイレ	200 基	想定避難者数×1/200×1基×0.3 ※200人当たり1基を確保
緊急用浄水機	6 基	

(2) 今後の備蓄計画(平成22年度～平成26年度)

【平成21年度作成】

区分	H21		H22	H23	H24	H25	H26
非常食	128,600食	廃棄	25,517	27,376	27,480	21,000	27,227
		購入	0	1,453	27,480	21,000	27,227
		累計	103,083	77,160	77,160	77,160	77,160
飲料水(500ml)		廃棄					
		購入	15,432	15,432	15,432	15,432	15,432
		累計	15,432	30,864	46,296	61,728	77,160
災害用医薬品	200人分	使用期限と同時に更新を行う。					

3 災害時における協力協定の内容

締結日	協定書及び協定内容	協定先
H18.3.29	「災害時における物資の供給に関する協定書」 内容：避難者や被災者への救援物資（非常食、飲料水、日用品）の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)橘百貨店 ・(株)宮崎山形屋 ・生活協同組合コープみやざき ・宮崎県パン協同組合 ・(株)永野 ・(株)ハツトリー ・(株)マルシヨク ・(株)山形屋ストア ・イオン九州(株)ジャスコ宮崎店 ・(株)南九州ファミリーマート ・イズミヤ(株) ・マックスバリュ九州(株) ・(株)エブリワン ・(株)エーコープみやざき
H18.9.27	「災害時における被災者に対する防災活動協力に関する協定書」 内容：避難施設としての協力（避難場所、屋上駐車場）、避難者への物資の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンモール株式会社イオン宮崎ショッピングセンター ・イオン九州(株)ジャスコ宮崎店
H18.9.27	「災害時における救援物資提供に関する協定書」 内容：災害対応型の自動販売機を活用した飲料水の提供、ペットボトル等の飲料水提供	<ul style="list-style-type: none"> ・南九州コカ・コーラボトリング株式会社 ・南九州ペプシコーラ販売株式会社
H20.6.5	「災害時における物資の供給に関する協定書」 内容：避難者や被災者への救援物資（非常食、飲料水、日用品）の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社 ダイエー ・NPO法人コメリ災害対策センター
H21.2.27	「災害時における救援物資供給に関する協定書」 内容：飲料水の無償提供	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県農協果汁株式会社